

明光学園同窓会会報

NO.49



明光学園同窓会

〒837-0906 大牟田市倉永 170

TEL 0944-58-0907

学園 HP <http://meiko.p-kit.com/>

2018. 2. 1 発行

一つのきっかけを通じて

同窓会会長 平川 よね子

(二十一回生)



平成三十年という年を迎え、同窓生の皆様にはご健勝のことと存じます。

さて、今年度も残り僅かになり、高校三年生を送る季節になりました。今回、六十四回生となる七十八名の卒業生を迎えて、一万一千七百二十二名の同窓生となります。この同窓生、お一人一人が何かのきっかけで明光学園を受験し、卒業して一万一千七百二十二名もの同窓生となられ、毎年、新同窓生を迎える同窓会として感慨深い思いがあります。

同窓会の理事を務めて頂いている方に、明光学園を受験されたきっかけをお尋ねすると、受験の理由が、意外にも身近な所にあった様です。ご姉妹のお姉様や親戚の従姉妹の方が在校生だったり、近所に明光生がいらしたり、制服に憧れて入学された方もいらしたようです。きっと、その先輩方が明光学園の素晴らしさを体現して伝えてくださったからだと思います。

私も学び舎を卒業して四十年経過しても、同期生はもとより、先輩方や後輩

にあたる方々にも脈々と引き継がれている賜物だと実感しております。

どうぞ、この会報を受け取られました同窓生の皆様も、ご近所に明光学園を受験したいと考えてあるお嬢さん方やご父兄がいらしたら、是非とも明光学園の校長先生や教職員の皆様のきめ細やかな教育に対する情熱や、人格形成に心血を注いでいらっしゃる学園の素晴らしさをお伝えして頂ければ幸いです。

今年は、二年に一度の総会開催の年にあたります。四のつく回生の方々が昨年より、七月一日(日)の総会に向けて準備を始めてあります。当番回生は、二十年に一度です。四のつく回生の方は連絡を取り合い、総会をきっかけに旧交を深められてはいかがでしょうか。

ひとりでも多くの方のご参加をお待ちしています。



御挨拶

校長 近見 政俊



時下、同窓生の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は本校の教育活動に對してご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度は、五月に明光祭を開催いたしました。同窓生の皆様にも参加していただき、盛会のうちに終了することができました。重ねてお礼を申し上げます。

さて、明光学園は創立六十六年目を迎えておりますが、卒業生の数も一万一千人を超えています。各地で活躍されている卒業生の話題になりますと、学園長先生やシスター方、諸先生方と昔を思い出しながら会話がはずみます。また、学校を訪ねてきてくれる卒業生の顔は私たちを思わず笑顔にさせてくれます。本当にありがたいことだと思っています。これから「明光に遊びに行こうか」と思ってくれるような学園でありたいと心から願っています。

まずご報告です。新しい体育館を多目的グラウンドに新築し、今までの体育館を解体いたしました。一九五二年に建造

され、今年で五十六年、卒業生の皆様にとって思い出深い施設がなくなりますことは心苦しいのですが、耐震上の問題で建て替えなければなりませんでした。私も長年、音楽の授業やオーケストラ部の練習場として思い出深い教室がなくなったことはとても寂しい気持ちでいっぱいですが、感謝をしながら解体されていく体育館を見送りました。しかしながら、この新体育館の完成で全ての施設が耐震基準を満たすこととなったことにホッとしているところでもあります。



生徒の活動といたしましてはハンドボール部が昨年に続き、インターハイ出場を果たしました。また、英語暗唱大会では中学生が高円宮杯で全国大会へ出場するなど、英語教育でも積極的な活動に努めています。

明光学園が目指す生徒像は「明朗活発で礼儀正しく、国際的な視野を持ち、愛

と奉仕の精神を実践できる女性」です。その教育の実践には私たち教師が身をもって示すことが条件であると思っています。

聖書の言葉に次のような箇所があります。

「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を生かして、互いに仕え合いなさい。」

(ペトロの手紙四章一〇節)

私たちはそれぞれに何かしら賜物魅力を授かっているということです。でもこれを自分の魅力にするためには努力が必要です。聖書には「恵みの良い管理者として、その賜物を生かして」とあります。一人ひとり違う魅力を持った生徒の皆さんが、その魅力を自分の強みとできるように育てるためには、一人ひとり違う魅力を持った教師が自分の強みを持つことだと考えています。自ら学ぶ姿勢を持った生徒を育てるために、自ら学ぶ姿勢を生徒に示していけるように職員一同努力していきたいと思えます。最後に、同窓生皆様の母校へのご支援とご協力お願い申し上げますとともに、皆様のご健康、ご健勝を祈念いたします。ご挨拶とさせていただきます。

支部だより

【関東支部】

倉門 史子（二十二回生 旧姓 野田）

今年の同窓会は十月一日（日）市ヶ谷の私学会館アルカディアにて、明光学園から近見政俊校長先生と、カノッサ修道女会からS.T.角修道女会長がご参加くださり総勢二十七名で和やかに行われました。

総会に先立ち、今年お亡くなりになったS.T.金松・阿部先生・山崎先生の為にお祈りを捧げました。

校長先生は明光学園の現状・未来についてのお話をなされ、参加の同窓生からの様々な質問にお気軽に、丁寧にお答え頂きました。

S.T.角はS.T.バキータのお話をしてくださり、修道院からは参加の皆様にS.T.バキータのペンダントをお土産に頂きました。

二時間半ほどの会でしたが、とてもあったかく楽しいひと時を過ごすことができました。毎年度感じるのですが、若い方の参加がとても少ないことが気にかかります。同窓生のお嬢様、お孫様が関東近辺にいらっしゃいましたら是非ご連絡を頂きますようお願い致します。



【東海支部】

辻村美智子（十一回生 旧姓 蓮尾）
中澤 公代（二十回生 旧姓 森）

平成二十九年東海支部同窓会は、六月四日（日）に開催いたしました。

陶磁器メーカー、ノリタケの総合施設「ノリタケの森」で、マグカップやお皿に絵付けをし、昼食は、近くのトヨタ産業技術記念館に場所を移し、大牟田から参加の同窓生のほか、養成の家からシスター肥塚、シスター金松、シスター甲木をお迎えし、東京よりシスター平川管区長様にもご参加いただき、明光学園の現

状等をお聞きしました。

平成三十年度の支部同窓会は、六月三日（日）今年と同じトヨタ産業技術記念館内のレストランにて開催を予定しています。東海支部同窓会の、『大人の社会見学』に参加なさいませんか。

みなさまのご参加を、お待ちしております。



【追悼】

平成二十九年八月二十八日午後、私共の恩師であったマドレ金松エイ子は、家族訪問のために帰省中の東広島島の妹さん宅にて帰天（急逝）なさいました。八十四歳の生涯でした。

当日はたまたま妹さんの誕生日で、午前中はお祝いの歌を歌われたとのこと、

四人の姉妹弟で穏やかで、のんびりゆったり、楽しい時を過ごされていたそうです。

マドレは、昭和三十五年五月香港での修行後、修道女として初めて明光学園中学二年生を担任、校長補佐、学校事務、会計等々、学園の創成期に大変貢献されました。その後明光学園教諭や、国内やイタリアの大学で研鑽を積み、イタリア・フイレンツェでカノッサ会専属翻訳者となり、日本語補習学校や通訳ガイド等々多くの仕事をされ、フイレンツェ滞在中の二十一年余は地元の日本人たちの心の支えだったとのことでした。平成二十年七月に帰国後、平成二十一年一月より名古屋養成の家の家族となられ、イタリア語のレッスンや、ルネッサンス美術やフイレンツェ発祥の愛と奉仕の団体（ミゼルコルディア）に関する講演等々、幅広く活動されていました。マドレは、支部同窓会には必ず参加してください、今年度も、とても楽しそうにお皿の絵付けをなさっていました。最期まで毅然として、ご自身を律せられ、私共教え子に逝き方を教えていかれました。まさに教育者として修道者として全うされた、という思いがしています。

十月二日東京・府中市カトリック共同墓地にある、カノッサ会のお墓での納骨式には、支部より代表として参列し、マ



ドレ金松エイ子の修道女としての人生のしめくくりを見届けさせていただき、心よりの感謝を申し上げます。

祈りのうちに

【関西支部】

神田 郁子（二十六回生 旧姓 徳永）

学園長ドーボン・マーグリーテの参加は、私たちが若返らせてくれました。一瞬にして高校時代に戻ってしまうのです。心も体も。

母校のきらきらした後輩の活躍は私たちにとって超自慢であり誇りであり嬉しく思っています。英語に、オーケストラに、ハンドボールに。精一杯努力して楽しみながらの姿が浮かびます。そしてハンドボール部にと今回の参加者全員寄付をさせて頂きました。

今年は、宝塚にいてもおかしくない秋江さんが音頭をとってくれました。皆誰かの力に支えられて助け合っています。

美濃吉で十四名の参加、その後和菓子

の鼓月でお茶を。

関西在住の方、六月にぜひ参加下さいね。お待ちしております。

同窓会本部・支部のご案内

◎本部	福岡県大牟田市倉永 170 明光学園同窓会 Tel.0944-58-0907
◎東京支部	東京都府中市西原町 2-1-14 倉門 史子（22 回生）〈旧姓 野田〉
◎東海支部	名古屋市熱田区玉の井町 10-12 辻村美智子（11 回生）〈旧姓 蓮尾〉
◎関西支部	京都市右京区宇多野法安寺町 17-1 神田 郁子（26 回生）〈旧姓 徳永〉



卒業生だより

喜寿祝記念の天草旅行

六回生 大瀧 公子

（旧姓 石井）

平成二十九年四月十九日朝十時、関東、関西からの参加者も含め六回生十四人が小型バスで天草へ向け大牟田駅西口を出発しました。実は丁度一年前六回生の七十五歳記念として、天草のキシタシ史跡廻りが計画されていたのですが、直前に熊本地震が起こり中止となりました。そこで今度は数えの喜寿祝として実行することになったのです。

幸い好天に恵まれこの日は三角西港散策、天草五橋下廻りのシークルーズ、祇園橋見学を楽しみました。三角西港は明治の港が完全に残るのは日本でここだけという世界遺産登録の港です。祇園橋は、天草五橋を渡り天草上島を横切つて天草下島に入るとすぐにある巨大な石を組み合わせて造った日本最大級の石造桁橋で、国指定重要文化財となっています。いまだに渡ることができることが驚きです。それから下島を横切つて島の西側の下田温泉の望洋閣に宿泊。宿の特設テラスで海に沈みゆく夕日を眺め、海の幸に舌鼓を打ち、部屋に戻っては時

のたつのも忘れて懐かしい友との語ら
いに興じました。

翌二十日は、目的のクリシタン遺跡廻
りとしてクリシタン資料館である天草
ロザリオ館、その背後の丘の中腹にある
大江教会、そして下って海辺の崎津教会
へ行きました。大江教会からは地元の市
民ガイドさんがつくことになり、様々な
説明の中、二つのことが特に私の心を打
ちました。まず一つは、やむなく絵踏を
行う場合には、足の親指を立て足の甲を
できるだけ高く持ち上げて、土踏まずの
空間が聖母の顔の上に来るようにして
お顔を踏まないように努めたというこ
と。二つ目は、クリシタン弾圧の為に送
り込まれたある役人が、善良な住民の命
を救いたいと村民に改宗を勧められた
こと。即ち、「信仰を守って殉教すれば
後には何も残らないが、キリスト教が解
禁される時がいつかは必ず来るはずだ
から、その時まで耐え忍んで形だけ改宗
して時を待つてはくれないか。心の中ま
では他人には見えないのだから。」と言
って神道への改宗を勧められたそうで
す。そのわけは、改宗の証拠としてお正
月の注連縄を正月が終わっても玄関に
飾ったままにしておけば遠くから傍目
にもすぐ神道の家とわかるであろうか
ら、ということでした。この説明に村民
は納得し、集落の三百人全員が神道に改

宗し処刑者を出さずに済んだそうです。
この隠れ信仰のおかげで、キリスト教解
禁後天草で最も早く造られたのが大江
の教会で、現在の建物は昭和八年にガル
ニエ神父が私財を投じて設立されたも
のだそうです。

次の崎津教会は、明治二十一年に表通
りを挟んで高台側に木造の教会として
建てられたものが、昭和九年に海辺に移
され立派なゴシック様式の建物となり
ました。ここは「絵踏」の行われた庄屋
屋敷跡で、「絵踏」の行われたその場所
に現在の祭壇があるといわれているそ
うです。ここ崎津では、通りに面した何
軒もの家に、注連縄が張ってあるを見
ました。

私事ですが、数年前藤原歌劇団のある
テナー歌手の方が、「自分は隠れクリシ
タンの子孫だが先祖が途中で神道に改
宗したおかげで今の自分が存在してい
る。我が家の宗教は今も神道です。」と
言われているのを直接聞いたことがあ
り、この注連縄の話は特別に心に響きま
した。

午前中に協会廻りをして、昼食後、道
の駅によりあとは真つすぐ大牟田へ。十
六時半ごろ無事着きました。今回の旅行
は西鉄旅行会社にお勤めの井形さん（六
回生）のお嬢さんのお世話になりました。
おかげで三角西港、祇園橋、現地市民方

イドさんなどなど予想を超えた実り多
いものとなり、感謝しております。

最後に、東京から参加された歌人沢口
恵美さん（本名長谷川芳子）が「天草へ
の旅」として詠まれた歌を紹介しまし
よう。

抜けるような今日の青空に海かがやく

一年待ちし天草への旅

明光の庭にもありしと懐かしむ

ルルドのマリア像を仰ぎて

教会を背にして記念の写真撮る

もうすぐ喜寿の我ら十四人



「第十七回生同窓会」開催

十七回生 久保田 津保子

（旧姓 境）

初秋の候、九月九日（土）柳川市に於
いて、十七回生の同窓会を開催しました。

この同窓会は、数年毎に、各地区を巡回
して開催され、今回は柳川市近郊の同窓
生が担当しました。

高校卒業後久しぶりに再会の人、遠方
より参加の人ありで、会場は終始華やい
だ雰囲気包まれ、時の経つのも忘れる
くらい楽しく、和やかなひと時を過ごす
ことができました。

また、当日はお忙しい中を恩師の高口
（旧姓 杉野）先生にもご参加いただき、
私たちの学生時代の思い出話などをお
聞きし、当時の明光学園での生活が懐か
しく思い出されました。

今回の同窓会は、八女地区の担当予定
です。今回残念ながら参加できなかった
同窓生の皆様とも次回はお会いできる
ことを願いつつ、今後も引き継がれてい
く同窓会であるよう祈念いたします。



明光学園 第17回卒 同期会 平成29年9月9日 於 山田屋

母校に戻ってきて

五十三回生 岡 千聖

同窓会の皆様、こんにちは。私は、本年度四月より六年間お世話になった大好きな明光学園で養護教諭(保健室の先生)として働かせていただいております。明光学園を卒業後は、長崎の活水女子大学で養護教諭免許、幼稚園教諭免許、保育士資格を取り、福岡の女子校に五年間勤め、地元の大牟田に戻ってきて公立小学校に一年間勤めていました。

卒業して十年ぶりにこのような形で戻ってきた明光学園は、私が在学していたころと変わらず、シスター方や先生方が温かくて優しく、ありのままを受け入れて下さるので、私が私らしくいれる場所だと改めて感じています。

保健室には毎日、けがをした生徒、体調が悪い生徒、相談をしたい生徒など学年やクラスを問わず多くの生徒が来室します。私はそんな生徒たちと関わることに、一人一人の生徒ときちんと向き合いたい、温かい心で寄り添うことを心がけています。それは、明光学園で愛と奉仕の精神を学んだことが大きく影響しています。愛を持つて接すると、自分の心も温かくなりますが、相手の心に小さな種を蒔くことができると思います。その種はわずかかもしれませんが、

相手の生きる力になると思います。私も在学中に多くの先生方に種を蒔いていただきました。ですから、次は私が後輩である生徒たちに種を蒔きたいと思っています。

母校で教員として働くことができるという喜びは、言葉では言い表せませんが、日々、素直な生徒たちと関わることでできることに感謝しながら、これからも明光学園に貢献できるように努力を続けていきたいと思っています。

29年度高校3年生保健委員と共に



計報

国語 阿部 壹與子 先生
理科 土井良 哲 先生
心よりご冥福をお祈りいたします。



阿部先生を偲んで

門司 昌子(国語)

人に優しくいられるというのは、それだけ自分に厳しいということ。阿部先生に接するとき、いつも感じていたのは他者への厳しさではなく、ご自分を律する厳しさだった。常に多くのことを自分に課していらっしゃる。その気配が先生の体の隅々から感じられ、安易に話しかけることなど恐れ多くて、多くの言葉を交わせなかったことを、今ではとても後悔している。

たぶん、毎朝誰よりも早く職員室のドアを開け、すべての机を拭き上げて場を整えてくださった。初任の私にも丁寧な言葉遣いでねぎらいの言葉を掛けてくださった。学校を去る生徒に「また勉強したくなったら戻っていらっしゃい」とおっしゃった。

どれも内心驚くことばかりだった。先生という仕事は、これほど懐が深くあらねばならないのかと、わが身の行く末が不安になったりもした。

言葉はいくらでも取り繕うことができるけれど、振る舞いはごまかせない。

阿部先生の日々の振る舞いの一つ一つが明光学園の精神を体現なさっていたものであった。「愛と奉仕の精神」を私に教えてくださったのは、確かに阿部先生その人であった。先生と一緒だった時間は十年にも満たなかった。ご退職になって二十年もの時間が過ぎてしまっただが、先生の面影は今でも私が目指すべきものを指し示してくださる。阿部先生の追悼ミサが修道院のお御堂で行われたのは、もうすっかり夏の気配が濃くなった6月だった。なくてはならない方がもうどこにもいらつしやらないというのは、權を失った舟のように寂しく寄る辺ない気持ちになる。今は、阿部先生がそのすべてを通して教えてくださったことを見失うことがないように、同時に、明光学園がそれを共有できる場であり続けるように、教職員の一人として努力したいと思う。



ミサ後の
茶話会にて...

学園だより

平成二十九年年度

明光祭バザー報告

二十三回生 松藤和代(旧姓 古賀)

平成二十九年五月二十一日(日)に明光祭が開催されました。隔年開催になって初めての明光祭でしたが、今年度もたくさんのお客様をお迎えすることができました。

今回も同窓会はバザー(二・三のつく回生担当)で参加しました。

同窓生の皆様から、たくさん品の物のご提供やいくつかの業者さんからの協力をいただきました。

前日の準備と当日の販売にかけつけて下さった卒業生も多く、盛会のうちに終えることができました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



収益金 111,780 円

同窓会運営に役立たせていただきます。

ハンドボール部 活動報告

顧問 三十二回生 溝越 美穂
(旧姓 松尾)

今年度創部四年目を迎えますハンドボール部は、三月に一期生が卒業しました。卒業後もハンドボールを、大学や実業団で続けている卒業生もおり大変嬉しく思います。

八月福島県で開催されましたインターハイでは、「全国制覇」を目標に臨みましたが、エースが試合中に負傷し準々決勝に出場できないということもあり、ベスト8という結果で大会を終えることとなりました。全国制覇の目標は残念ながら達成することが出来ませんでした。全国大会出場の際は、同窓生の皆様方からたくさん寄付金やご声援をいただき、深くお礼申し上げます。

現在三年生が引退をし、一年生十六名、二年生五名の二十一名で新チームが新たな目標に向かいスタートしています。

十一月、新チームで初めての大会となる第十三回 FHB A カップ 福岡県高等学校ハンドボール選手権大会が開催されましたが、優勝する事ができ無事四連覇することができました。十二月に行われる新人戦でも優勝できるよう、ひとつ

ひとつの試合を大切にしながら頑張ります。

今後とも、どうぞ応援の程よろしくお願ひします。
(十二月上旬現在)

サッカー部 活動紹介

顧問 下川 義雄(数学)

今年度より創部致しました明光学園サッカー部です。「全国大会出場」をチームの目標に掲げ、「サッカーを通じて自立した人間の育成」を目指し日々活動しています。

サッカーは、他のスポーツと比べると自由度の高いスポーツです。選手たちは、数ある選択肢の中で局面に応じて一番良いプレーを選択しなくてはなりません。ピッチ上では一人一人が自立した選手でないと、チームとしてうまく機能せず試合に勝つことはできません。

そのため、指導の際も答えをすべて与えるのではなく、まずは選手たちに考えさせながら一緒に結論を出していくようにしています。



食育への取り組み

十四回生 徳山 洋子(旧姓 矢次)

現在、明光学園では、食育の一環として、カレーの日、ランチ Day、パスタ Day が行われています。料理を作るだけでなく、生徒や先生方への販売、実食してもらうものです。

今回は、カレーの日を同窓会より四のつく回生が試食させていただきました。当日は、村上先生と中島先生のご指導のもと、中学三年生の二クラスでカレーとゼリーを作っていました。

生徒さん達は、中一の時に自分たちで作ったエプロンと三角巾を身に着けて調理をしているそうです。

食育のこと、料理は一生必要なもので、また大事なことです。昔々の千原先生の家庭科の時間を懐かしく思い出しました。

明光学園同窓生の活躍

57回生 坂口 カンナ さん

現在、ラジオ crossFM の番組ナビゲーターとして出演中です。ぜひ、応援をよろしくお願い致します。

【番組紹介】 TAKE IT EASY

毎週土曜日 12:00~15:00

椎葉ユウさんと坂口カンナさんが大人向けの音楽と、週末を楽しむための話題を届けてくださる番組です!



新理事紹介

63回生（平成29年3月卒業）

古賀 遥 金子 はる菜
市原 歩実 佐藤 歩

同窓会入会式

平成30年2月27日（火） 11時50分より

カノッサホール

お近くの卒業生の皆さま

どうぞご自由にご出席ください。

第64回 明光学園高等学校卒業式 3月1日（木）

総会へのお誘い

24回生 奥園 陸代（旧姓 小宮）

今年は2年に1度の総会の年です。7月1日（日）南関町のホテルセキアで開催予定です。私たち4のつく回生が担当させていただきます。詳細は別紙にてご案内しておりますのでそちらをご覧ください。総会でのご意見、ご質問、先生方や皆様との懇親のひと時を過ごされるのはもちろん、この機会にクラス会を開催したり、仲の良い友人達との旅を企画するなど、この集まりを再会の場として利用していただければ幸いです。

同窓会理事より

Q:「卒業時にクラスの同窓会理事を引き受けました。しかし、私事でクラス理事を降りさせていただきたいのですが、可能ですか？」

A:「可能です。

ただし、後任の方をご自分で探していただき、お互いが了承したのち、同窓会事務局の明光学園まで必ずご連絡ください。」

一般会計収支計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(収入の部)				単位:円
科 目	予 算	決 算	差 異	摘 要
会費収入				
入会金	445,000	445,000	0	5,000×89名
年間連絡費	1,100,000	1,432,500	332,500	
利息収入				
預金利息	100	29	△ 71	
広告料収入				
会報	0	90,000	90,000	47号:60,000 48号:30,000
その他	0	0	0	
バザー収益等収入				
バザー収益金	0	0	0	
その他収入	0	35,283	35,283	総会余剰金
当期収入合計	1,545,100	2,002,812	457,712	
前期繰越金	3,057,082	3,057,082	0	
収入の部 合計	4,602,182	5,059,894	457,712	
(支出の部)				単位:円
科 目	予 算	決 算	差 異	摘 要
会報発行費	515,000	1,193,782	678,782	2回発行(47号、48号)
印刷費	130,000	166,492	36,492	47号:89,942、48号:76,550
振替用紙印刷	35,000	62,640	27,640	年間連絡費払込票
送料	350,000	964,650	614,650	47号:387,825、48号:576,825
奨学金費	720,000	696,000	△ 24,000	10,000×4×12 9,000×2×12
支部助成費	120,000	120,000	0	関東・東海・関西支部等
学校行事援助費	100,000	56,160	△ 43,840	卒業生コサージュ
会議費	20,000	17,860	△ 2,140	理事会・常任理事会等
事務手数料費	30,000	19,600	△ 10,400	
通信費	30,000	29,815	△ 185	はがき・切手
払込負担費	80,000	56,290	△ 23,710	連絡費払込料金
印刷・消耗品費	30,000	109,273	79,273	封筒:89,100
渉外費	0	10,000	10,000	ハンドボール公式戦冊子の広告料
雑費	0	8,077	8,077	卒業アルバムほか
予備費	0	0	0	
当期支出合計	1,645,000	2,316,857	671,857	
次期繰越金	2,957,182	2,743,037	△ 214,145	
支出の部 合計	4,602,182	5,059,894	457,712	

INFORMATION

年間連絡費(年会費)の振り込みをお忘れなく!

年間連絡費は、同窓会の大切な運営費となります。ここ数年、1年間の支出が収入を上回っており、これまで通りの活動ができるか懸念されます。年間連絡費の納入をお願いします。

☆事務の簡素化のため、会報には郵便振替用紙を一律に同封して発送しています。

前納されている方は、振り込まれる必要がありません。どうぞ御了承下さい。

☆領収証は振替の受領証にて替えさせていただきます。

☆通信欄にお便りをどうぞ。皆様のお便りによって、さらに会報が会員交流の広場となりますように。

平成29年度分(年額1,000円)
納入方法 同封の郵便振替用紙にて
口座番号 01770-2-15719
口座名義 明光学園同窓会

個人情報について

同窓会が、会員様よりお預かりした個人情報、同窓会が発行する会報の発送業務のみに使用しております。会員様および外部の方からの問い合わせには公表いたしておりません。